



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 サン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6736 URL <https://www.sun-denshi.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内海 龍輔
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役専務 (氏名) 木村 好己 (TEL) 052-756-5981
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,402	△6.7	△136	—	3,499	—	6,896	△59.6
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期	7,931	6.2	△169	—	12	—	17,070	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,418百万円(△34.7%) 2025年3月期第3四半期 8,291百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 313.34	円 銭 313.00
2025年3月期第3四半期	767.00	765.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 51,497	百万円 44,941	% 87.2
2025年3月期	53,127	47,608	89.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 44,898百万円 2025年3月期 47,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				—	—

(注) 2026年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定といたします。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 10,300	% △5.0	百万円 △210	% —	百万円 5,500	% 674.8	百万円 8,800	% △48.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	24,007,728株	2025年3月期	24,007,728株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,489,908株	2025年3月期	1,740,467株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	22,008,448株	2025年3月期 3Q	22,256,021株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-ESOP）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策の影響が一部の産業にみられるものの、雇用・所得環境が改善する中、各種政策の効果により景気が緩やかに回復しております。

当社グループは、「情報通信とエンターテインメントへの集中」、「企業価値の向上を図る」、「ベンチャー精神で自ら行動する」を経営方針に掲げ、中長期的な経営戦略として、①情報通信（セキュリティ、M2M/IoT）関連分野での新たな顧客価値の創造、②エンターテインメント（遊技機及びゲーム）関連分野での新たなIPの創造、③グローバル市場におけるビジネス構築及び拡大を推進し、各種の施策に取り組んでおります。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,931	7,402	△529	△6.7
売上総利益	2,082	1,973	△109	△5.3
営業損失（△）	△169	△136	33	—
経常利益	12	3,499	3,486	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,070	6,896	△10,174	△59.6

主な増減要因

前第3四半期連結累計期間に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上高はエンターテインメント関連事業における遊技機部品等の出荷数量の減少及びIT関連事業における3GからLTE（4G）へのマイグレーションによる需要が一段落したことなどにより、5億29百万円減少の74億2百万円、売上総利益は1億9百万円減少の19億73百万円、営業損失は販売費及び一般管理費が1億42百万円減少したものの1億36百万円、経常利益は持分法適用関連会社であるCellebrite社の持分法による投資利益を35億2百万円計上したことにより34億86百万円増加の34億99百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益はCellebrite社の持分変動利益を140億91百万円減少となる34億69百万円計上したことにより、101億74百万円減少の68億96百万円となりました。

<セグメント別の業績概況>

前連結会計年度末において、デジタルヘルス分野への新規参入に伴い、報告セグメントに「ウェルネス事業」の区分を新設しております。

[グローバルデータインテリジェンス事業]

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	878	881	2	0.3
売上総利益	223	198	△24	△10.9
セグメント利益（営業利益）	111	84	△26	△23.9

主な増減要因

売上高は、サブスクリプションビジネスでの受注金額増加等により、前年同期比で増収となったものの、一部の受注条件の悪化により減益となりました。

[エンターテインメント関連事業]

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	4,481	4,229	△251	△5.6
売上総利益	1,113	1,006	△106	△9.6
セグメント利益（営業利益）	438	453	15	3.4

主な増減要因

遊技機関連事業につきましては、遊技機部品等の出荷数量が減少したこと等により前年同期比で減収となったもの、販売費及び一般管理費が減少したことにより増益となりました。

ゲームコンテンツ事業につきましては、新作の発売があったものの前年同期比で減収減益となりました。

[IT関連事業]

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,587	2,309	△278	△10.7
売上総利益	729	754	24	3.4
セグメント利益（営業利益）	135	201	65	48.4

主な増減要因

M2M事業につきましては、各通信キャリアが2026年3月までに3G回線を順次停波することから発生していた3GからLTE（4G）へのマイグレーションが一段落した一方で、代替となる5GやエッジAIをキーワードとする新商品の開発・展開が遅れたこと等により出荷数量減となったこと、また、産業用ネットワークに対するセキュリティ対策コストの増加により、前年同期比で減収となったものの、販売費及び一般管理費が減少したことにより増益となりました。

[ウェルネス事業]

	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)
売上高	—
売上総利益	—
セグメント損失（△）（営業損失）	△22

活動状況

ウェルネス事業につきましては、連結子会社であるサンデジタルヘルス株式会社を通じて、スリープテックを使い睡眠の質改善分野でリードするMyWaves Technologies Limitedの製品の国内発売に向けて、各種の準備を進めている段階です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
流動資産	16,733	9,448	△7,284	△43.5
固定資産	36,394	42,049	5,654	15.5
総資産	53,127	51,497	△1,629	△3.1
流動負債	5,240	6,315	1,075	20.5
固定負債	278	240	△37	△13.6
負債	5,519	6,556	1,037	18.8
純資産	47,608	44,941	△2,666	△5.6

主な増減要因

(資産)

流動資産の主な減少要因としては、金銭の信託71億円の減少であります。

固定資産の主な増加要因としては、関係会社株式53億27百万円の増加であります。

(負債)

流動負債の主な増加要因としては、短期借入金6億25百万円及び契約負債4億31百万円の増加であります。

固定負債の主な減少要因としては、長期借入金34百万円の減少であります。

(純資産)

純資産の主な減少要因としては、自己株式71億82百万円の増加及び為替換算調整勘定17億22百万円の減少であります。一方、主な増加要因としては、利益剰余金57億82百万円の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表しました2026年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,148,549	2,433,533
金銭の信託	7,800,000	700,000
受取手形及び売掛金	1,740,838	1,602,807
未収入金	231,875	39,365
製品	598,734	454,817
仕掛品	346,286	426,749
原材料	3,182,265	2,762,649
預け金	22,566	111,608
その他	662,427	917,508
貸倒引当金	△199	△99
流動資産合計	16,733,345	9,448,940
固定資産		
有形固定資産		
土地	949,043	949,043
その他(純額)	455,977	427,951
有形固定資産合計	1,405,020	1,376,994
無形固定資産		
のれん	478,136	435,158
その他	205,463	175,789
無形固定資産合計	683,600	610,948
投資その他の資産		
投資有価証券	10,774,890	11,296,178
繰延税金資産	571,500	476,609
関係会社株式	22,243,678	27,571,670
その他	715,423	716,647
投資その他の資産合計	34,305,492	40,061,105
固定資産合計	36,394,113	42,049,049
資産合計	53,127,459	51,497,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	880,950	979,492
短期借入金	2,291,548	2,917,367
1年内返済予定の長期借入金	36,504	46,178
未払費用	295,859	399,290
未払法人税等	2,893	49,133
前受金	62,358	47,703
契約負債	1,135,648	1,567,033
賞与引当金	98,048	130,016
その他	436,622	179,602
流動負債合計	5,240,433	6,315,819
固定負債		
長期借入金	217,442	182,495
繰延税金負債	8,219	6,395
再評価に係る繰延税金負債	10,212	10,212
退職給付に係る負債	11,714	12,177
その他	31,157	29,503
固定負債合計	278,746	240,783
負債合計	5,519,180	6,556,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,097,606	2,097,606
資本剰余金	3,340,696	3,570,464
利益剰余金	41,767,144	47,549,815
自己株式	△3,584,241	△10,766,525
株主資本合計	43,621,205	42,451,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,932	221,949
繰延ヘッジ損益	△12,613	73,572
土地再評価差額金	△434,495	△434,495
為替換算調整勘定	4,308,958	2,586,351
その他の包括利益累計額合計	3,924,782	2,447,378
株式引受権	24,673	10,095
新株予約権	37,617	32,551
純資産合計	47,608,278	44,941,386
負債純資産合計	53,127,459	51,497,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,931,148	7,402,081
売上原価	5,848,397	5,428,704
売上総利益	2,082,751	1,973,376
販売費及び一般管理費	2,252,301	2,109,771
営業損失 (△)	△169,550	△136,395
営業外収益		
受取利息及び配当金	224,377	201,422
為替差益	—	460
持分法による投資利益	—	3,502,441
その他	5,005	3,294
営業外収益合計	229,383	3,707,618
営業外費用		
支払利息	15,578	23,203
為替差損	20,370	—
自己株式取得費用	—	34,995
支払手数料	10,744	13,064
その他	839	891
営業外費用合計	47,531	72,155
経常利益	12,300	3,499,068
特別利益		
固定資産売却益	2,330	—
投資有価証券売却益	—	595
持分変動利益	17,560,330	3,469,023
新株予約権戻入益	17,362	—
特別利益合計	17,580,024	3,469,619
特別損失		
減損損失	26,717	—
その他	43	0
特別損失合計	26,760	0
税金等調整前四半期純利益	17,565,563	6,968,687
法人税、住民税及び事業税	1,067,855	39,811
法人税等調整額	△572,654	32,841
法人税等合計	495,200	72,653
四半期純利益	17,070,363	6,896,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,070,363	6,896,033

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	17,070,363	6,896,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,037,432	162,431
為替換算調整勘定	131,730	3,637
持分法適用会社に対する持分相当額	126,661	△1,643,473
その他の包括利益合計	△8,779,040	△1,477,404
四半期包括利益	8,291,322	5,418,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,291,322	5,418,629

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会決議に基づく自己株式767,300株の取得及びストック・オプションの行使等による自己株式17,859株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が7,182,283千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が10,766,525千円となっております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

1. 役員向け株式給付信託(BBT)

当社は、2025年6月24日開催の第54回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(監査等委員である取締役を除く。)及び執行役員の報酬と株式価値との連動性をより明確にし、取締役等が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下、「本制度」といいます。)を導入し、2025年8月より信託を開始しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として毎年一定の時期となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社の株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、180,300千円、30,000株であります。

2. 従業員向け株式給付信託(J-ESOP)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会決議に基づき、従業員に対して自社の株式を給付する「株式給付信託(J-ESOP)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が定める「株式給付規程」に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、株式給付規程に基づき、当社の従業員に対し、当社の業績等に応じてポイントを付与します。従業員に付与されるポイントは、当社株式等の給付に際し、1ポイント当たり、当社普通株式1株に換算されます。ただし、当社株式について、株式分割、株式無償割当又は株式併合等が行われた場合には、その比率等に応じて、付与済みのポイント数又は換算比率について合理的な調整を行います。従業員が株式給付規程に定める受益者要件を満たした場合、当該従業員は、所定の受益者確定手続を行うことにより、ポイント数に応じた数の当社株式について、J-ESOP信託から給付を受けます。ただし、株式給付規程に定める要件を満たす場合は、一定割合について、当社株式の給付に代えて、当社株式の時価相当の金銭給付を受けます。

本制度の導入により、従業員の株価及び業績向上への関心が高まり、これまで以上に意欲的に業務に取り組むことに寄与することが期待されます。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付隨費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、180,300千円、30,000株であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	グローバルデータインテリジェンス事業	エンターテインメント関連事業	IT関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	86,240	4,464,310	2,124,169	6,674,720	—	6,674,720
一定期間にわたり移転される財	792,715	—	463,712	1,256,427	—	1,256,427
顧客との契約から生じる収益	878,956	4,464,310	2,587,881	7,931,148	—	7,931,148
外部顧客への売上高	878,956	4,464,310	2,587,881	7,931,148	—	7,931,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16,907	—	16,907	△16,907	—
計	878,956	4,481,218	2,587,881	7,948,056	△16,907	7,931,148
セグメント利益	111,224	438,464	135,643	685,331	△854,882	△169,550

(注) 1 セグメント利益の調整額△854,882千円には、セグメント間取引消去185千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△855,067千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社であるCellebrite社に係る持分変動利益の計上等により、グローバルデータインテリジェンス事業のセグメント資産が17,740,927千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	グローバル データイン テリジョン ス事業	エンターテ インメント 関連事業	IT関連事業	ウェルネス 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
一時点で移転される財	78,433	4,215,684	1,733,270	—	6,027,388	—	6,027,388
一定期間にわたり移転される 財	802,721	—	571,970	—	1,374,692	—	1,374,692
顧客との契約から生じる 収益	881,155	4,215,684	2,305,240	—	7,402,081	—	7,402,081
外部顧客への売上高	881,155	4,215,684	2,305,240	—	7,402,081	—	7,402,081
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13,854	4,629	—	18,483	△18,483	—
計	881,155	4,229,538	2,309,870	—	7,420,564	△18,483	7,402,081
セグメント利益又は損失 (△)	84,653	453,587	201,264	△22,281	717,224	△853,619	△136,395

(注) 1 セグメント利益の調整額△853,619千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△853,619千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において、デジタルヘルス分野への新規参入に伴い、報告セグメントに「ウェルネス事業」の区分を新設しております。

また、中間連結会計期間より「新規IT関連事業」を「IT関連事業」に報告セグメントの名称を変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん、顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん、顧客関連資産の償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	180,818千円	179,275千円
のれん償却費	51,353千円	45,016千円
顧客関連資産の償却費	8,841千円	7,750千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。